



COLLABO

2025 Vol.1



特集① 学校応援団

新座市立野火止小学校
全校遠足×写真サークル



特集② 放課後子供教室

みかりばっ子放課後教室
(狭山市立御狩場小学校)



五月二十九日木曜日、新座市立野火止小学校では、青空のもと、全校遠足が行われました。目的地は、約2km離れた新座市総合運動公園です。

開会行事では、代表児童が、「待ちに待った全校遠足、楽しみでよく眠れませんでした。」という期待に満ち溢れた言葉^{たんた}を述べていました。丹代^{まだか}円校長先生からは、「いい天気にも恵まれたのはみんなの力。たくさんボランティアの方が、みんなが安全に行けるよう、すでに準備をしてくださっています。すれ違ったときには、みなさんの気持ち^{きもち}を伝えてくださいね。」と児童にお話しされていました。

特集① 学校応援団



「たくさんのボランティアの方」

この日は、保護者やボランティアの皆さんが、決められた場所に立って、目的地までの道のりを、野火止小学校の児童（のびっ子）が安全に歩けるように、見守ってくださいました。

また、遊歩道近隣の西分町内会安全パトロール、交通指導員、シルバー人材センターの方々の協力もいただいています。



野火止小学校の学
校応援団の特徴的な
取組として、イベン
トボランティアに参
加している立教大学
の写真サークル
「シャッターズ」の
協力があります。現
在立教大学の四年生
で前代表の白水^{しろみず}さん
にお話を伺うと、
「このサークルは楽
しく活動することに
重きを置いていて、
写真はあくまで趣味
程度です。」とのこ
と。のびっ子たちの
ありのままの姿を写
真に収め、多くの写
真を印刷して、学校
に提供してくれてい
ます。

今年二月に行われた「のびっ子わくわくプロジェクト」から始まった野火止小学校との関係。他の活動がきっかけで野火止小学校の方と出会い、「よし、やってみよう」となったそうです。

それ以降、「シャッターズいつ来るの」という子供たちの声を聞いて、必要とされてうれしい、と話す白水さん。また、子供たちと顔見知りの関係になっっていることや、学校の先生方からもありがたく思われていることから、今後もこのつながりを大切にして、「シャッターズ」の活動の幅が広がっていくといいな、と話してくださいました。



テレ玉Newsで紹介されました。



「シャッターズ」前代表の白水さん



持続可能な

取組に…

この日は大学の授業がなく、野火止小学校の全校遠足を子供のように楽しみにしていたという白水さん。

撮影に協力した学生の中には、時間の許す限り撮影して、その後、大学の授業へ向かった学生もいました。



頼りになる後輩に思いを伝えて

白水さんは、この活動が今後も続いていくといいなと思い、代表としての任務を終え、後任に引継ぎをす
る際、マニュアルを一から作成したそうです。

それでも引継ぎには、難しさを感じており、自分の思いのたけを文字に起こして残すには限りがあるので、できるだけ大学で活動をしているうちに後輩に伝えられるようにしていかなくは、と責任感のある言葉を残してくれました。



昇降口には「シャッターズ」撮影の写真を掲示

子供たちとの関わりが

エネルギーに

また、工夫していることとして、PTA本部役員や当日ボランティア等、参加される方の腕章の色を変えることで、ボランティアの方の役割を明確にしている
そう、保護者の方からも好評とのことでした。

PTA活動や、ボランティアで来校した保護者には、授業の様子、先生や子供たちの姿を見られるよう、校長先生も積極的に声掛けをしてくださるので、多くの保護者が参加してくださるそうです。

前PTA会長の鈴木さんは、コーディネーターとして活躍しています。鈴木さん曰く、学校と地域をつなぐために意識していることは、情報を伝えること、そして地域の声に耳を傾けることだそうです。





自然と挨拶ができる関係性



交通量の多いところも安心

野火止小学校の学校
 応援団について、丹代
 校長先生は、「学習支
 援ボランティアの方は
 家庭科の授業をするに
 あたり、事前にミシン
 の確認をしてくださつ
 たりもします。学校応
 援団は本当にありがた
 いです。」とにこやかに
 お話しされました。



子供たちとじゃんけんをする丹代校長先生



図書ボランティアさんによるのびっ子の木



花の植え替えをしたばかりの学校花壇

野火止小の学校応援団には他にも、
 登下校の見守り活動をする見守り隊、
 一年生の給食やミシン学習のお手伝い
 などをする学習支援ボランティア、花
 いっぱいボランティア、図書室の環境
 整備を行う図書室飾りつけボランティ
 ア、読み聞かせボランティア、子供た
 ちが楽しめるイベントを開催するイベ
 ントボランティア等、地域の方や野火
 止小学校の保護者、卒業生、大学生な
 ど多くの方が関わっています。
 今年度からは学校応援団の受付を
 グーグルフォームを活用してオンライン
 で行ったり、学校のホームページに
 情報を掲載したりして、学校応援団に
 携わる方を随時募集しています。
 今後、野火止小学校の学校応援団
 の幅が広がっていくのが楽しみです。

のびどめ
野火止小学校紹介



住所：新座市野火止4-9-1
 児童数：544名（6月2日現在）
 学級数：21学級
 開校年月：1971年4月（開校55周年）
 学校地域教育目標：考え学ぶ子 仲良くする子
 たくましい子 地域を愛する子
 令和4年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働
 活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰 受賞
 学校HP：<https://e-nobitome-c-niiza.edumap.jp/>





特集② 放課後子供教室

六月三十日月曜日。
三十度を超える暑さの中、狭山市立御狩場小学校の体育館にはみか
りばっ子放課後教室を
支えるスタッフの皆さ
んが、子供たちを今か
今かと待ち構えていま
した。

暑さに負けない元気
なあいさつとともに子
供たちが現れると、下
校の仕方が記載された
用紙をスタッフが預か
り、手作りの名札を子
供たちに手渡ししてい
ました。

二回目となるこの日
の活動内容は、自由遊
びに加えて今回初めて
となる「入曾囃子」の
体験。太鼓や獅子舞な
どを目にした子供たち
は、お祭り気分になつ
たようで、何が始まる
のだろうと、わくわく
している様子でした。





この企画を考案したのは、みかりばつ子放課後教室の菅原秀子^{すがわら ひでこ}さん。入曾には、伝統あるお囃子があるのに、その良さが伝わらないという現状があるのです。たくさんの子供たちに知ってもらいたい、そしてこれからもこのお囃子をもっともっと広めてもらいたい、そんな思いがあったそうです。そんな中、お囃子に参加している児童三人のうち一人が御狩場小学校の児童で、放課後子供教室に参加するということを知り、これまで自由遊びしか行つてこなかった放課後子供教室の活動内容に、入曾のお囃子を取り入れ、体験してもらおう、
 と思いついたとのことでした。



見事な踊りを披露した須賀さん

お面をつけた三年生の須賀一智^{すが いち}さんがリズムに合わせて登場してきたのです。
 もともとお祭りが好きで、太鼓の体験をしたことがきっかけでお囃子に興味をもったという須賀さん。その堂々たる姿は、見ている子供たちはもちろん、スタッフの方々も驚いていました。普段、学習支援にも参加しているスタッフの方は、子供たちのいつもと違う一面が見られてうれしかった、と話していました。



須賀さんから踊りの指導を受けるスタッフの皆さん

「入曾囃子」 いりそばやし

について

昔の農村で行われていた「里神楽（さとかがら）」というお祭りの音楽から生まれたお囃子です。入曾囃子^{いりそばやし}ができたのは、江戸時代の終わりがころ（一八一八年〜一八三〇年）です。昭和四十五年には「入曾囃子保存会」が作られ、昭和五十二年には狭山市から市指定無形民俗文化財として指定を受けて、現在も伝統文化を守りながら、活動を続けています。



獅子舞を間近で見てびっくり



「ニン、パ」のリズムで

太鼓の体験には長蛇の列ができていました。体験した子供たちからは「太鼓をたいたのが楽しかったです。」「最初は難しかったですけど、やさしく教えてくれたので、上手にたたくことができてうれしかったです。」など、どの子も満足した様子でした。

長きにわたり放課後子供教室に携わってきた菅原さん。みかぱりぱ子供放課後教室の活動を校庭と体育館での自由遊びにしている理由を伺うと「子供はやりがちがある。だから、これをやりなさい、というのではなく、遊びたいもので遊ばせたいのです。その時には、近くにいて大人（スタッフ）に声をかけて、思いつき遊びましょう、と伝えていきます。みかぱりぱ子供放課後教室は、遊びたいもので遊べる、居心地のいい、ほっとする場所にしたんです。」とはつらつとした表情で答えてくださいました。

また、代表の岡澤恵さんは限られた場所での自由遊びをするということについて「体育館では、遊ぶ場所がある程度決めてけがないように工夫をして実施しています。今日は体育館で遊ぶ子が多いですが、外で遊びたい子にも必ずスタッフがついていき、安全に自由遊びができるように気をつけています。」と安心して楽しく活動できる配慮について教えてくださいました。

居心地のいい、ほっとする場所に

保存会の方は、「子供は覚えるのが早い。たたき方にしてもリズムにしても、やっていく中で、目や耳から吸収してすぐに覚えてしまう。この機会が何かのきっかけになれば。」とお話されていました。



水分補給もしっかりと

保育士の仕事に携わっていたスタッフや、お孫さんが御狩場小学校に通っている、放課後教室のことを知り、スタッフとして参加するようになった方も。あるスタッフの方は、放課後教室を通して子供たちと顔見知りの関係になったことで、普段の生活の中でもあいさつをしてくれるようになり、それが何よりうれしく、生きがいになっているそうです。子供たちとふれあうことが何より楽しいとスタッフの方々が皆、口をそろえてお話しされていました。



岡澤さん(左)と菅原さん(右)

みかりばっ子
放課後教室
自由遊び



卓球



バスケットボール



ストラックアウト



野球



けん玉



こままわし



工作

学校を核として、地域の人が集まる、地域の人のために居心地のいい、ほっとする場所として、放課後教室の活動が広がっています。

この日は、一年生31名、三年生23名が参加。そのうち、39名は学童保育を利用していただくため、学童の先生がお迎えに来てくださいます。お迎えに来た保護者の方は、放課後教室は大変貴重な機会です。地域の方にはありがたいと思っております、と話してくださいました。

児童の小学校が終わるとスタッフの皆さんで反省会。皆さん疲れていたとしても、子供たちのためと思えば、また学校に足を運ぼうという気持ちになるそうです。

御狩場小学校の三上陽照校長先生は、地域の方を前に「みかりばっ子のために、いつも当たり前のようにご協力いただき、感謝しております。」と暑い中、子供たちのことを温かく見守ってくださいました。スタッフの皆さんに御礼を伝えていました。

この日は、一年生31名、三年生23名が参加。そのうち、39名は学童保育を利用していただくため、学童の先生がお迎えに来てくださいます。お迎えに来た保護者の方は、放課後教室は大変貴重な機会です。地域の方にはありがたいと思っております、と話してくださいました。



反省会も大事な時間



みかりば
御狩場小学校紹介



住所：狭山市大字北入曾755-4
 児童数：196名（7月1日現在）
 学級数：8学級
 開校年月：1983年4月（開校43年目）
 学校教育目標：自ら学ぶ子（かしこく）
 仲よくする子（なかよく）
 たくましい子（たくましく）



地域学校協働活動News

ここでは、生涯学習推進課主催の事業や、地域学校協働活動に関する情報をお伝えします。

【協議】

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的取組の推進について

協議の中で
出た意見

地域を知ること、課題を共有すること、そして地域と学校の願いを共有することが、改めて大切であると感じている。

学校応援団に参加した方々は、児童と接する楽しさやワクワク感を強く感じているようである。そのため、強く募集をかけなくても「そろそろ参加時期ではないか」といった雰囲気は自然に生まれている。

地域の方々が子どもたちを見守ってくださることに本当に感謝している。

膝を突き合わせて話し合い、「これどうなんだろう」とどんなことでも意見を交わせる関係性を構築することを目指している。

学校が地域に支えられる一方通行の関係ではなく、学校が地域を支えるという逆の方向性もあるべきである。

埼玉県では地域学校協働活動の円滑な運営を図るため、地域学校協働活動等の運営方法に関することや、学校と家庭・地域社会との連携・協働の在り方について協議する「地域学校協働活動推進委員会」を設置しています。

第一回目は五月三十日（金）に開催されました。内容は、事業説明と協議を行いました。

地域学校協働活動推進委員会

地域学校協働活動推進委員会委員

教育総務部副部長
県民生活部共助社会づくり課
県民生活部スポーツ振興課
福祉部こども支援課
県立学校部県立学校人事課
県立学校部高校教育指導課
県立学校部保健体育課
市町村支援部小中学校人事課
市町村支援部義務教育指導課
教育総務部文化財・博物館課
教育総務部生涯学習推進課

さいたま市教育委員会代表
埼玉県公立小学校校長会代表
埼玉県中学校長会代表
埼玉県PTA連合会代表
埼玉県商工会連合会代表
埼玉県学童保育連絡協議会代表
埼玉県図書館協会代表
コーディネーター代表
学識経験者
研究委嘱市町村教育委員会代表
教育事務所代表

地区別地域学校協働活動 担当者会議

地域学校協働活動推進委員会のもと、県内四地区の教育事務所（南部、西部、北部、東部）単位で設置されるのが地域学校協働活動担当者会議です。六月上旬、市町村の学校応援団担当者や放課後子供教室担当者が参加し、情報交換・意見交流が行われました。

どの地区でも話題となったのが、地域側の課題として地域学校協働活動に携わる人材確保についてです。人材育成、人材確保のために、各市町村では研修会の場を設定したり、市民大学等の講座において、地域学校協働活動の取組についてお伝えしたりと様々な工夫をしています。

また、市町村側の課題としては、「地域との連携・協働」を推進している担当課の連携についてが話題となりました。地区によっては、学校応援団担当課職員と放課後子供教室担当課職員が参加しているところもあり、この担当者会議が連携の第一歩として、よい機会となっているという声も耳にしました。

担当者会議は年二回開催されます。次回は一月に開催予定です。

今年度各地区において、令和六・七年度地域学校協働活動の推進に関する研究委嘱を受けている四地区の実践発表会が行われます（下表参照）。

地域学校協働活動News

令和6・7年度地域学校協働活動の推進に関する研究委嘱

地区	研究委嘱市	研究指定校	個別のテーマ	実践発表会開催日等※
南部	川口市	川口市立前川東小学校	子供たちの成長を支える地域学校協働ネットワークの充実 ～学校運営協議会のつながりを生かした放課後子供教室の実現～	令和7年 11月19日(水)
西部	日高市	—	コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進 ～「学校を核とした地域づくり」を進めるための学校運営協議会と地域学校協働本部の役割～	令和7年 11月28日(金)
北部	深谷市	深谷市立深谷小学校	コミュニティ・スクールと放課後子ども教室の一体的な推進 ～深谷小学校平日放課後子ども教室への幅広い地域住民の参画を目指して～	令和7年 11月27日(木)
東部	春日部市	春日部市立江戸川小中学校	学校運営協議会を原動力とした地域学校協働活動の推進と充実 ～未来の地域につながる学校づくりネットワークの構築～	令和7年 11月26日(水) 蓮田市文化会館 (ハストピア)

※東部地区以外はオンライン開催

参加者募集中!

埼玉県

放課後子供教室研修会2025

放課後コーディネーター研修会

定員
60名

日時

9月5日(金)

13:30 ~ 16:30

会場

県民健康センター

〒330-0062

さいたま市浦和区仲町3-5-1

アクセス

浦和駅から 徒歩 15分

中浦和駅から 徒歩 20分

講演

「つながる、つなぐ、わかちあう

～コーディネーターの役割と必要な知識・技術～」

アクティブシティズンシップ研究所代表、昭和女子大学特任教授
興梠 寛 氏

事例発表

放課後子供教室 入間市こども支援部青少年課

放課後児童クラブ 社会福祉法人富士見市社会福祉事業団

放課後児童クラブ事務局

ワークショップ

「より多彩に、より楽しく、より深く

～参加のチャンスをひらくプログラム・メニューづくり～」

アクティブシティズンシップ研究所代表、昭和女子大学特任教授
興梠 寛 氏

申込期限

8月22日(金)

申込は

こちらから

<https://forms.office.com/r/6cUjASUiny?origin=lprLink>



放課後子供教室活動見学会

定員
40名

日時

10月23日(木)

13:00 ~ 16:30

会場

久喜市立久喜小学校

〒346-0005

久喜市本町2丁目5番1号

アクセス

JR久喜駅から 徒歩 11分

内容

くきっ子ゆうゆうプラザの活動見学

▶取組説明

久喜市放課後子供教室運営委員会会長

くきっ子ゆうゆうプラザ実施委員長

▶活動見学

▶質疑応答

申込期限

10月3日(金)

申込は

こちらから

<https://forms.office.com/r/7af5LA4tQT?origin=lprLink>



地域学校協働活動情報通信 **COLLABO** は

地域と学校が相互にパートナーとして、連携・協働していくことが求められている今、県内各地の学校と地域の協働(collaboration)の様子について紹介していきます。年間5回の発行を予定しております。

発行元：埼玉県教育局教育総務部生涯学習推進課 令和7年7月発行

電話：048-830-6979 メール：a6975-05@pref.saitama.lg.jp(ご意見、ご感想、取材依頼はこちらまで)